

みなさんの ポッポおひさま発電所 サポーター通信 No.3

2008. 1. 10



明けましておめでとうございます。

みなさんのご協力で実現したポッポおひさま発電所は、2度目のお正月を迎えました。そして、今年から

いよいよグリーン電力証書の販売を開始しています。

自然エネルギーをさらに多くの人に広げるため、このとりくみを成功させましょう

ポッポおひさま発電所

グリーン電力証書の販売を開始しました。

温暖化防止へ自然エネルギーを見直そう

地球温暖化問題への関心が急速に高まる中で、CO₂削減義務を定めた京都議定書の目標を達成できるかが今大問題になっています。日本の削減義務は1990年比6%、しかし2006年時点で逆に6.4%も増加してしまっています。これはなぜでしょうか？

日本には大きな弱点が2つあります。その一つは省エネです。日本の省エネ技術は世界トップクラスとされていますが、個々の機器の省エネ効率は高くても機器の数が増え続けているためエネルギーの使用量が増え続けていることです。もう一つは、発電を自然エネルギーに切り換えることによって、元からCO₂を削減することに消極的なことです。

日本は原子力発電への依存を強める政策を今なお続けている数少ない国となっています。原子力発電所が事故で停止した分の電力を火力発電でまかなっているため、発電部門におけるCO₂の増加に歯止めがかかりません。

EUでは各国に自然エネルギーのシェアを高める政策を指令し、全体でも当面2割を自然エネルギーでまかなう計画で、CO₂の着実な削減をすすめています。

グリーン電力への評価を高める

自然エネルギー電力はCO₂の発生を減らすという環境価値を持っており、この環境価値を証書にして販売するのがグリーン電力証書です。

国の自然エネルギー政策が立ち遅れている中でも、温暖化への危機感から民間レベルで自然エネルギー普及に積極的にとりくむ個人・団体（企業）が増加しています。

これらの企業はグリーン電力証書を購入し、自社で使用する電力のグリーン化に努め、環境問題に取り組む企業

特定非営利活動法人 自然エネルギー市民共同発電

発行責任者：早川光俊

〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1-19-470

Tel:06-6910-6301, Fax:06-6910-6302

E-mail:wind@parep.org, URL:http://www.parep.org/

イメージをアピールしながら、自然エネルギー普及への経済的支援を行っているのです。地方自治体でも東京都のように、庁舎内で使用する電力のグリーン化をすすめたり、入札企業の資格条件に一定のエネルギーグリーン化を求めるところが増加しています。

ポッポのグリーン電力証書 8千kWh分

ポッポおひさま発電所は、昨年11月に「グリーン電力認証機構」から自然エネルギー発電設備として認定されました。そしてこの1年間の発電量のうち約8千kWhについて、グリーン電力証書の販売を開始します。

販売希望価格は、10円/kWhです。購入は、個人・団体ともに可能で、購入者には「グリーン電力証書」が交付され、自然エネルギー電力を使用していることを表示できます。グリーン電力認証機構のホームページ上にも表示されます。

あなたの身のまわりの会社などにも是非ご紹介ください。たとえ買ってもらえなくても、知ってもらうことにも重要な意味がある取り組みなのです。

宣伝のちらしなどが必要な場合はご連絡ください。



グリーン電力認証機構

グリーン電力に対する社会的認知度の向上やグリーン電力取引への信頼性向上を目的とし、発電事業者から独立してグリーン電力の認証を行う第三者機関。2001年設立。山地憲治委員長（東大教授）ほか委員9名、事務局は（財）日本経済研究所。

ポッポおひさま発電所の設備認定番号は、下記のホームページにアクセスし、矢印にしたがって開いてゆけば閲覧できます。

URL: <http://eneken.ieej.or.jp/greenpower/jp/index.htm> → 認定 / 認証一覧 → 発電設備認定証一覧 → 3P

累計発電量 2万 kWh、CO₂ 削減量 14 トンに

ポッポおひさま発電所の 12 月末までの発電量は、設置時からの累計で 20,255kWh となりました。これによって CO₂ の排出量は、火力発電所で発電した場合に較べて 14.0 トン削減されたことになり、地球温暖化を防止する上で有効かつ重要な貢献をしたこととなります。

8 月にトラブルによる発電ロス発生

この間、発電機器はきわめて順調に稼動してきましたが、8 月にパワーコンディショナーのスイッチに棒が接触して発電ロスが発生しました。

パワーコンディショナーは太陽光発電を交流に整える役割を果たす機器ですが、園の保育備品を収納する倉庫の壁面上部に設置されています。9 月上旬に、倉庫内に収納されていた棒がパワーコンディショナーの 1 台に接触、スイッチが切れた状態になっているのを発見しました。直ぐに修復しましたが、詳しく調べてみると 7 月 31 日から 9 月 7 日までこのような状態が継続していたことが判明しました。この間の発生した発電ロスは約

837kWh と推定され、正常な発電量の半分に減少しました。トラブルが発生していた期間は好天に恵まれたため発電ロスは通常の一月分にもなりました。

日常管理の改善などの対策を実施

開設以来はじめてのトラブル発生ですが、これを一罰百戒とすべく対策を実施しています。発見が遅れたのは、会の事務局が訪問して確認することに頼っていたため、園の日常的な管理をお願いしました。

また、パワーコンディショナー付近に物を近づけないよう職員の方々に徹底していただきました。さらに会員に協力をお願いし、事務局以外に定期的に訪問点検をする体制を確立します。

昨年並みの発電実績を維持

8 月のトラブル後は順調な発電を続け、前半期の発電の好調さもあって、現在まで前年比 97% とほぼ前年並みの発電実績を維持しています。

ポッポおひさま発電所 発電実績

月	発電日数		日射量 (kWh/ m ²)			発電量 (kWh)			発電効率		自家消費と売電 (kWh)			
	当年度	前年度	当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	売電量	自家消費量	合計	自家消費率
4	30	30	138.5	117.4	118%	1163.0	997.6	117%	84.0%	85.0%	210.0	871.8	1081.8	80.6%
5	31	31	157.9	134.5	117%	1294.6	1113.9	116%	82.0%	82.8%	474.0	950.5	1424.5	66.7%
6	30	30	137.1	126.8	108%	1110.5	1045.0	106%	81.0%	82.4%	253.0	855.5	1108.5	77.2%
7	31	31	111.2	108.1	103%	888.2	873.5	102%	79.9%	80.8%	130.0	703.4	833.4	84.4%
8	31	31	159.5	158.1	101%	613.5	1217.6	50%	38.5%	77.0%	104.0	802.6	906.6	88.5%
9	30	30	125.6	123.8	101%	871.1	975.9	89%	69.4%	78.8%	140.0	610.3	750.3	81.3%
10	31	31	112.1	113.8	98%	898.2	880.7	102%	80.1%	77.4%	154.0	645.2	799.2	80.7%
11	30	30	85.5	84.8	101%	683.0	676.6	101%	79.9%	79.8%	194.0	617.5	811.5	76.1%
12	31	31	74.4	70.8	105%	584.7	578.7	101%	78.6%	81.7%	89.0	513.0	602.0	85.2%
計	275	275	1101.8	1038.2	106%	8106.8	8359.5	97%	73.6%	80.5%	1,748.0	6,569.8	8317.8	79.0%

※発電量は月末まで、売電量は 20 日まで

累計発電量 20,255.9 kWh

累計 CO₂ 削減量 13,976.5 kg

省エネ家電の実力は？ 「省エネラベル」で賢く省エネ

家庭からの CO₂ 排出量は、1990 年から比べると約 30% も増加しています。家庭で利用する家電製品の種類が増えたり、大型化したことが要因の一つになっています。

そんな中、家電製品の省エネ性能は大幅に高くなっており、最新の製品を 10 年前と比べてみると、エアコンでは消費電力が 40% も少なくなっています(『省エネ性能カタログ 2007』より)。

省エネ型の家電製品が、家庭での CO₂ 削減に大きな効果も持つと考えられます。

そこで、省エネ性能の違いや電気代をわかりやすく示した「省エネラベル」を見て、購入時に省エネ型の製品を選択してもらうことで、家庭からの CO₂ 排出を減らそうという取組みが全国で行われています。

この省エネラベルでは、省エネ性能を 5 段階にわけての数で表しており(☆5 つが一番省エネ性能の優れたもの)、電器売場のたくさんの製品のなかでどれが省エネ性能の高いものなのか、一目でわかるようになっています。

【省エネラベル】



オゾン層の破壊や地球温暖化の原因となるフロン類を冷媒として使っていない冷蔵庫

省エネ性能。☆の数が多いほど優れている

エネルギー消費効率

国の省エネ基準の達成率 (100% 未満は未達成)

1年間の電気代の目安

省エネ性能が高いほど販売価格も高くなるので、つい安い製品を選びがちですが、販売価格と 10 年間の電気代を合計した金額では、販売価格の高い省エネ型製品のほうが逆転して安くなることもあります。みなさんも、家電製品購入の際は、ぜひこの省エネラベルを参考にして「賢く省エネ」してください。

市民共同発電所が全国に 185ヶ所も

市民共同発電所全国フォーラム 2007 開催

ポッポおひさま発電所のような市民共同発電所が全国に185ヶ所あり、合計の発電容量1.6万kW、総事業費25億円、かかわった市民はなんと3万人以上。こんな調査結果が、9月23日から大阪経済大学で開かれた「市民共同発電所全国フォーラム2007」で発表されました。

全国フォーラムの開催は今年で5回目、各地の市民共同発電所の代表約400人が集り、経験交流や今後の方向性について話し合い、国などに自然エネルギー政策の見直しを求める「アピール」を採択しました。

今回のフォーラムには、マスコミも注目し、NHKTVはニュース7で「市民共同発電所は地球温暖化防止に大きな効果が期待されていますが、日本では採算性が低く普及が進んでいないのが課題です。

こうしたなか全国の市民共同発電所の代表が大阪で集会を開き、発電した電力を高く買取よう国の制度の見直しを求めてゆくことになりました」と紹介しました。



ポッポおひさま発電所が優秀賞を獲得

—— 一村一品知恵の環づくりで活動発表

環境省が実施した「一村一品知恵の環づくり」の大阪大会が11月29日になみはやドームで開催され、ポッポおひさま発電所も参加しました。



サポーター会員16名が活動発表とブース展示を行いました。ポッポ第2保育園の年長組18名もステージに上がり、大好きな「ぼくら太陽の子」の歌を合唱してくれて、見事優秀賞を受賞しました。

子供たちは、大阪府の温暖化防止マスコット‘モットちゃん、キット



ちゃん’と一緒に体操したり大喜びでした。

シロクマくんを救え！ 鴻池ファミリーフェスティバル

ポッポおひさま発電所の地元東大阪市の寺島公園で11月25日に開催されたファミリーフェスティバルに今年も参加しました。

地球温暖化によって北極の海水の減少が続いています。生活の場である海水の減少で絶滅の危機に直面しているシロクマを救うためにも地球温暖化の防止をと、手作りのシロクマとペンギンの着ぐるみを買って身につけたサポーター会員が訴えました。

地元の中学生二人が着ぐるみ役を買って出て元気にチラシを配ると、たちまち子どもたちの人気者に。子ども連れのお父さんなどが足を止めて話を聞いてくれたり、シロクマ、ペンギンと一緒に写真を撮ったりしました。



ポッポおひさま発電所に寄付してくれた方々との交流もでき、とても有意義な一日となりました。

このシロクマとペンギンの着ぐるみは、バリ島で開催されたCOP13にも参加し、地球温暖化防止を訴えて人気を博しました。



年末恒例もちつき大会 12月23日

ポッポ保育園は地域とともに歩み育ってきた保育園です。働くお父さんお母さんたちが「ポッポ保育園を支える会」に集まって展開するさまざまな活動の一つが、年末もちつき大会です。

ポッポおひさま発電所はぜんざいの模擬店や風車ブローチ、サボテン、ツル編みカゴなどの販売で参加し、お父さんや職員さんと一緒にキネをふるって楽しい一時を過ごしました。



今後の2年間で地球の未来を左右する

COP13 でバリロードマップを採択



COP13 総会

COP 13、インドネシア・バリ島で開催

国連気候変動枠組条約第13回締約国会議（COP13）と京都議定書締約国会合（CMP3）が12月3日から15日間インドネシアのバリ島で開催されました。

今回の会議は、「京都議定書」が合意されてから10年で、その第一約束期間（2008～2012年）が始まる直前という時期に開催されました。また、2007年度のノーベル平和賞を受賞したIPCC（気候変動に関する政府間パネル）が、その第4次報告書で「地球温暖化の進行は疑う余地がなく、その原因は人間の行為による可能性が極めて高い」と指摘したのを受けて開催されるという、いろいろな意味で記念すべき会議となりました。今回のバリ会議の主要なテーマは、2013年以降の削減目標と制度に合意の道筋をつけることでした。

2009年末までを期限とし、全ての国が参加する道筋に合意

開会総会では、選挙で勝利したオーストラリア労働党のラッド新首相が「京都議定書」を批准することを表明し、拍手喝采を受けました。また会議終盤には、IPCCとともにノーベル平和賞を受賞したアル・ゴア氏も現地入りし、より高い削減目標で世界が合意することを呼びかけました。

会議は、①次期の削減目標と枠組の合意を2009年末までに行うこと、②先進国の削減義務については、2020年までに25～40%削減が必要とするIPCCの指摘を参考



会場前でのパフォーマンス / AP 通信から世界に配信された

にすること、③京都議定書に参加していないアメリカや、中国、インドなどの途上国を含む全ての国が参加すること、④適応基金の実施体制、などを確認して終了しました。

中長期の削減数値の明記に消極的な米・日

合意に至るまでに、中長期の削減数値の明記をめぐる、アメリカ・日本・カナダなどと途上国やEUが対立し、会議は決裂の危機に直面しました。決定案の原案には、IPCCが示した、先進国が2020年までに25～40%、全世界で2050年までに50%という削減目標が明記されていました。

これにアメリカや日本などが異議を唱えたため紛糾し、開催国インドネシアのユドヨノ大統領や潘基文国連事務総長などの異例の呼びかけを受けて、条約のもとでの決定にはこれを記載せず、議定書のもとでの先進国に関する決定にはこれを明記するというで決着がつけました。

アメリカ、日本やカナダが、中長期の削減数値を記載することに反対するのは、削減がまったく進んでいないからです。こうしたアメリカや日本、カナダの後ろ向きの交渉態度は、世界の市民、NGOから厳しい批判を浴び、この3国は会議中に何回も化石賞を受賞することになりました。

「日本の化石賞」の発表風景
日本が連日不名誉な受賞

	1 st Place	2 nd Place	3 rd Place
Dec. 3	Saudi Arabia	United States	Canada
Dec. 4	Japan	Japan	Japan, Canada, United States
Dec. 5	Saudi Arabia	Japan	United States, European Union

私たちの行動が未来を決める

今回の合意文書で、条約のもとでの決定に具体的な中長期の削減数値は明記されなかったものの、アメリカや途上国の参加への道が開かれ、先進国の削減目標に関する特別作業部会（AWG）の決定に具体的な削減数値が書き込まれたことは、大きな前進です。

これからも、京都議定書の枠組を強化してCO2の大幅な削減をめざす勢力と、言葉では「温暖化防止に熱心」だが実効性のない自由放任の体制を京都議定書に置き換えようとする勢力とのせめぎ合いとなります。残念ながら、日本政府は後者です。後ろ向きな日本政府の姿勢を変えることは、私たち日本の市民の責任です。

地球温暖化問題に人類が有効に対処しうるか否か、この地球を次世代に引継ぎうるか否かは、2009年までの2年間の交渉にかかっています。